

4 水道用水供給事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町が行っている水道事業への供給事業として、水道水の広域的、安定的な供給を行うため、湖南水道用水供給事業を行っています。

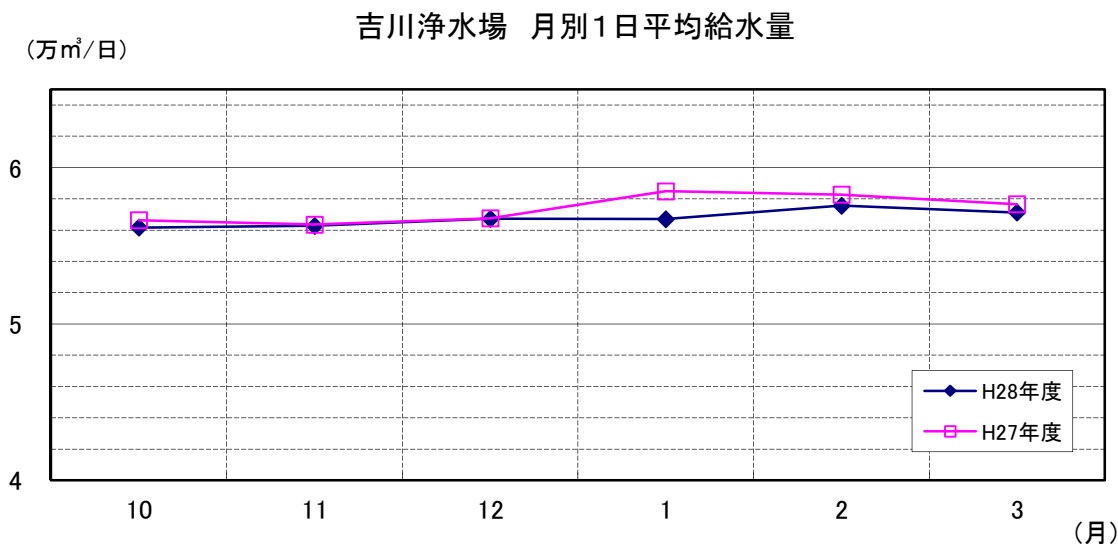
水道施設名	給水開始	給水先	給水人口
吉川浄水場 給水能力 81,100 m ³ /日	昭和 53 年 8 月	近江八幡市、草津市、 守山市、栗東市、甲賀 市、野洲市、湖南市、 東近江市、日野町、竜 王町	692,945 人 (H29.3.31 現在)
馬淵浄水場 給水能力 82,700 m ³ /日	昭和 54 年 11 月		
水口浄水場 給水能力 35,000 m ³ /日	昭和 59 年 6 月		

○給水状況

①吉川浄水場

平成 28 年度下半期の給水状況は、1 日平均給水量 56,747 m³ となっています。

1 日平均給水量を前年度同期と比較すると、607 m³ (1.1%) 減少しました。

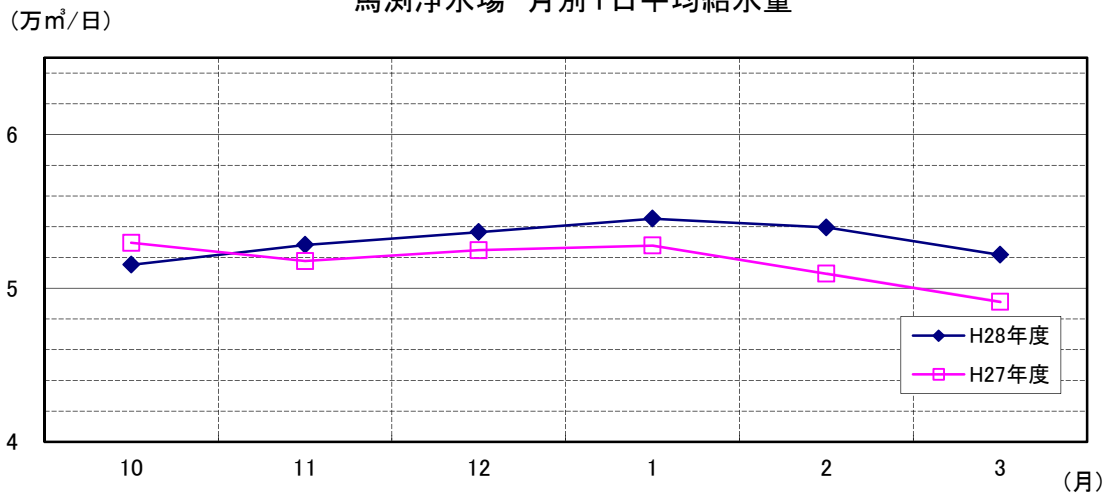


②馬淵浄水場

平成 28 年度下半期の給水状況は、1 日平均給水量 53,105 m³ となっています。

1 日平均給水量を前年度同期と比較すると、1,419 m³ (2.7%) 増加しました。

馬淵浄水場 月別1日平均給水量

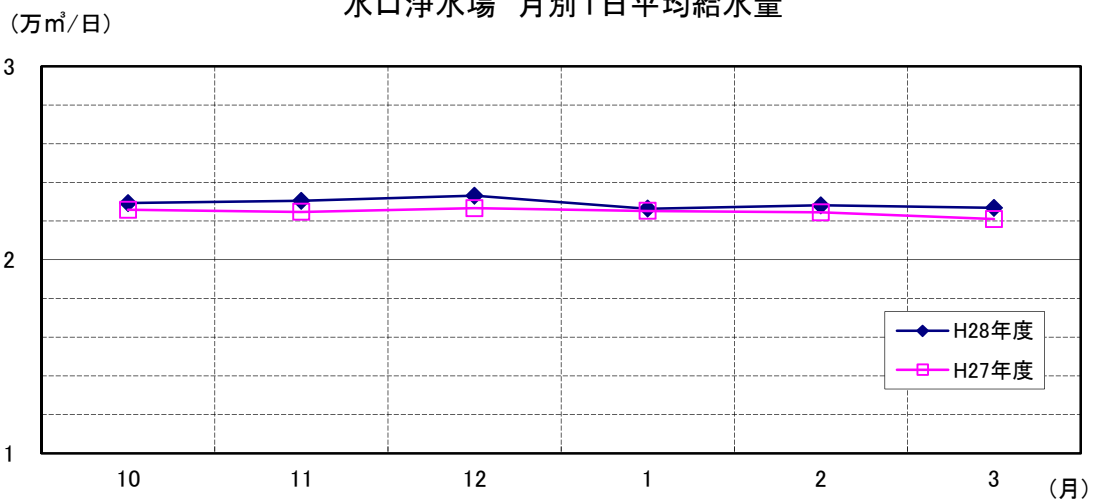


③水口浄水場

平成 28 年度下半期の給水状況は、1 日平均給水量 22,904 m³となっています。

1 日平均給水量を前年度同期と比較すると、438 m³ (1.9%) 増加しました。

水口浄水場 月別1日平均給水量



○建設改良事業の状況

①吉川浄水場

平成 28 年度下半期は、管路塩素追加注入設備設置工事や吉川浄水場洗浄排水移送ポンプ更新工事等を上半期に引き続き実施しました。

②馬淵浄水場

平成 28 年度下半期は、八幡安土バイパス送水管工事や南津田導水ポンプ場耐震改修工事等を上半期に引き続き実施しました。

③水口浄水場

平成 28 年度下半期は、水口幹線管路更新工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成 29 年 2 月定例会議において、事業収益については他会計負担金の増加等により 18,835 千円の増額補正を、事業費用については業務費の減少等により 172,932 千円の減額補正を行いました。また、工事費の減少等に伴い資本的収入を 570,049 千円、資本的支出を 801,052 千円、それぞれ減額補正しました。

○平成 28 年度予算の執行状況

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
水道用水供給事業収益	5,166,000	—	18,835	5,184,835	5,188,100	100.1
営 業 収 益	4,840,564	—	9,159	4,849,723	4,852,894	100.1
営 業 外 収 益	325,436	—	9,676	335,112	335,206	100.0
水道用水供給事業費用	4,426,400	—	△ 193,032	4,233,368	4,167,997	98.5
営 業 費 用	4,124,003	—	△ 269,469	3,854,534	3,808,847	98.8
営 業 外 費 用	302,397	—	76,437	378,834	359,150	94.8

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当) 額	補正予算額	予算現額 (A)	執行額 (B)	(B)/(A) %
資 本 的 収 入	579,500	70,000	△ 570,049	79,451	9,451	11.9
企 業 債	570,000	70,000	△ 570,000	70,000	—	—
出 資 金	9,500	—	△ 49	9,451	9,451	100.0
資 本 的 支 出	2,888,200	329,871	△ 812,076	2,405,995	2,298,666	95.5
建 設 改 良 費	1,797,417	329,871	△ 776,641	1,350,647	1,243,323	92.1
企 業 債 償 還 金	1,051,603	—	△ 27,189	1,024,414	1,024,411	100.0
固 定 資 産 購 入 費	39,180	—	△ 8,246	30,934	30,932	100.0

(注) 1 補正予算額は、平成 28 年 11 月定例会議および平成 29 年 2 月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、他会計負担金の減少等により、対前年度比0.7%減少の4,828,133千円となりました。一方、事業費用は、業務費の増加等により、対前年度比0.4%増加の3,889,424千円となりました。この結果、純利益は前年度より49,698千円減少し、938,709千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 28 年度 決算額 (A)	平成 27 年度 決算額 (B)	比 較 増 減		
			(A)－(B)	(A)/(B) %	
水道用水供給事業収益	4,828,133	4,862,037	△	33,904	99.3
営 業 収 益	4,493,420	4,485,070		8,350	100.2
営 業 外 収 益	334,713	376,967	△	42,254	88.8
水道用水供給事業費用	3,889,424	3,873,630		15,794	100.4
営 業 費 用	3,724,703	3,688,288		36,415	101.0
営 業 外 費 用	164,721	185,342	△	20,621	88.9
当 年 度 純 利 益	938,709	988,407	△	49,698	95.0

②財務状況

平成 28 年度末の総資産は、前年度より 843,180 千円 (1.5%) 減少して 55,528,047 千円、また、負債は 1,791,341 千円(8.7%)減少して 18,804,103 千円となり、資本は 948,161 千円(2.7%)増加して 36,723,944 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 28 年度 決 算 額	平成 27 年度 決 算 額	比較増減	科 目	平成 28 年度 決 算 額	平成 27 年度 決 算 額	比較増減
固定資産	44,989,330	46,088,817	△1,099,487	固定負債	11,267,952	12,196,252	△ 928,300
流動資産	10,538,717	10,282,410	256,307	流動負債	2,065,453	2,634,697	△ 569,244
				繰延収益	5,470,698	5,764,495	△ 293,797
				負債合計	18,804,103	20,595,444	△ 1,791,341
				資本金	29,394,367	28,523,412	870,955
				剰余金	7,329,577	7,252,371	77,206
				資本合計	36,723,944	35,775,783	948,161
合 計	55,528,047	56,371,227	△ 843,180	合 計	55,528,047	56,371,227	△ 843,180

③企業債の状況

平成 29 年 3 月 31 日現在の企業債の現在高は 10,680,714 千円です。

(3) 平成 29 年度の事業および予算の概要

清浄な水道水の供給により公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与するため、本年度は 8 市 2 町に 1 日平均 131,838 m³の水道用水を供給する予定としています。

本年度については、日野第二加圧ポンプ場電気設備更新工事等を前年度に引き続き行うとともに、馬淵浄水場中央監視制御装置更新工事等に着手することとしています。

○平成 29 年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
水道用水供給事業収益		5,149,000
	営業収益	4,843,096
	営業外収益	305,904
水道用水供給事業費用		4,296,100
	営業費用	3,993,066
	営業外費用	303,034

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		545,800
	企業債	540,000
	出資金	5,800
資本的支出		2,716,400
	建設改良費	1,710,156
	企業債償還金	990,346
	固定資産購入費	15,898

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。